

実践

平成二十一年度 坂本教育賞受賞校の取組み

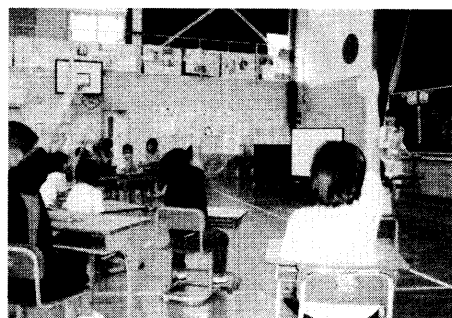
「心に響く道徳教育」を目指して

津野町立郷小学校

校長 久寿久美子 学級数 三学級 児童数 十七人

津野町立郷小学校は、文部科学省から平成十八・十九年度の二年間の指定を受け「心に響く道徳教育」を目指して授業実践を積み重ね、大きな成果をあげている。

平成二十年には、全国道徳研究発表会並びに四国道徳研究会での実践発表、教科ミドルリーダー（生活科）での研究を年間通して実践し、授業改善に取り組んできた。さらに、中部教育事務所とのふるさと未来教育研究協力校として、研究内容を広く一般に公開してきた。具体的な実践内容としては、道徳・生活科・総合的な学習はもと



より、複式校

の特徴を活か

して、

ひとり

学び・

とも学

びを効

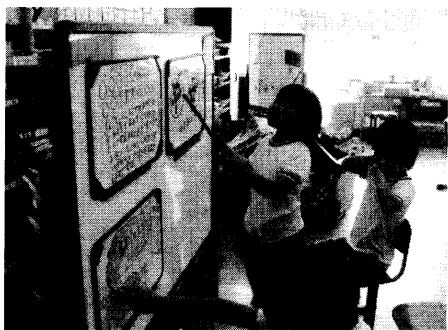
果的に

実践できる教材を開発し活用している。本年度の全国学力・学習状況調査にもその結果が表れ、全国平均を上回っている。

また、地元活性化・連携の一環として、隣接する津野町立郷幼稚園での小学生による昼の読み聞かせは、十年以上取り組みを続けている。本年度は、道徳・音楽・生活科及び朝の児童会活動に幼稚園児が参加するとともに、小学校教員が幼稚園授業への乗り入れも行っており、幼児教育の充実を図ると共に、幼稚園・小学校一体となった授業改善に取り組んでいる。

最後に、郷小学校は津野町立中央小学校と統合されること

が決定している。
(津野町教育委員会)



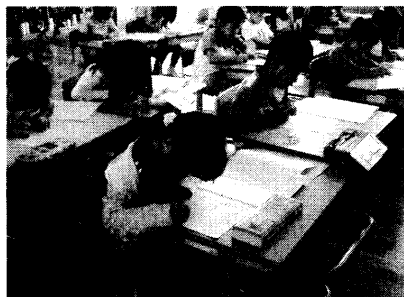
「生き生きどいっ子」を育む教育実践について

安芸市立土居小学校

校長 小堀美雅子 学級数 八学級 児童数 百二十三

本校では、これからの社会の変化に対し、子どもたちがしっかり生きていくため、知識・技能は勿論のこと、思考力・判断力・表現力などを含む幅広い学力を身につけ、周りの人たちと協力し感動を分かち合うことができる豊かな人間性と、自らの夢や希望に向けて生きようとする意欲を大切に育む教育を実践すべく、学校全体の見直しと改善に努めた。

その結果、学校教育目標を「生き生きどいっ子」とし、目指す子ども像としては、「自ら考え自ら学ぶ」賢さを・「心



豊かで
助け合
う」優
しさを・
「すす
んで体
を鍛え
る」強
さとた

くましさを、具体的指針として取り組んできた。

基礎学力の定着と学力の向上については、県下に先駆けた二期制の導入、多くの先生方から学ぶ教科担任制の導入、就学前の交流活動を密にする取り組みなどを展開してきた。

中でも、本校の先駆的な取り組みであり、大きな特色である「チャレンジタイム」は、学力定着の基礎となる「読み書き計算」の力や学び方をしっかりと身につけるうえで大きな効果をあげた。

また、これらの取り組みのうち平成十四年に生まれた支援ボランティア制度も「地域に開かれた学校づくり」を目指す中から生み出された。このような様々な創意工夫と試行錯誤を繰り返しながら、子どもたちが楽しく安心して学ぶことができる学校づくりが実現した。

その結果、現時点では自学の習慣化、基礎学力の定着などにおいて成果が見られ、不登校はここ数年ゼロ件である。また、学校経営においては、管理職のリーダーシップにより、各教員が自己目標シートに連動させながら、それぞれの役割を明確にする「一人一役」制を導入し、目的意識の高い、人間関係に配慮した学校づくりが行なわれている。

現在は、新学習指導要領の完全実施の準備期間として研究・実践を積極的に展開するなど、本市の中心校として、更なる発展をめざし教職員一丸となって取り組みを進めている。

(安芸市教育委員会)

「生きる力を育てる学校づくり」の取り組みについて

— 生徒指導の充実と授業改善を目指して —

高知市立横浜中学校

校長 田内 元 学級数 十二学級 生徒数 三百二十七人

本校は平成二年開校の比較的新しい学校である。学校教育目標に「一人ひとりの人権を尊重し、正しい判断力と豊かな心を持つ生徒の育成」を掲げ、「生きる力を育てる学校づくり」(いきいきとまなびつつける生徒の育成、認め合い・支えあい・学びあう集団の育成)を研究主題として取り組みを進めてきた。創立以来、各種の全国・中四国大会等へ積極的に参加し、実践の成果を発表してきた。

平成十九年度からは、特に生徒指導と授業改善に力をそそぎ取り組んでいる。



生徒指導においては、予防的な研究・実践(「Q-U」)による生徒の実態把握、長期欠席生徒への対応、交通安全指導、校内の美化や整備、生徒会活動の活性化等々)を推進している。中でも地域と連携した生徒会の活動は高く評

価されており、今年で八回目となる「カーブミラー大作戦」を初めとする種々のボランティア活動は各方面から表彰を受けた。また、主に地域に住む教員OBが登録している「横中サポート」は、生徒の悩み事相談、基礎学力定着等、学校内外で子どもたちの安全・安心のための支援を行なっている。

授業改善においては、研究推進委員会の組織を中心に、学力向上に向けた指導方法の研究を行なっており、「家庭学習の推進」「放課後や長期休業中の補習」「生徒全員が学びに参加する授業」を目指して、取り組んでいる。

これらの「学力向上サイクル」の取り組みを充実発展させるために、昨年度①校内授業研究にスーパーバイザーの佐藤雅彰先生を招聘②先進校の視察研修③学習支援システム、課題学習プリント及び学習支援システムを活用した各学年の「家庭学習ノート」作成配布・採点添削、また二週間ごとのテスト・七時限目の補習授業・再テストの実施④加力担当チームが中心となり、毎日の放課後の加力補習の実施、長期休業中には毎日加力学習補習を行なった。

今年も、本校の取り組みに加え、県市共同事業の「中学校家庭学習習慣確立プログラム」に取り組み、「質の高い授業」の確立を目指し、生徒が学び合う楽しさを実感できるように、教職員一同日々研鑽に取り組み一方、学校便り等で保護者・地域に発信し「地域の学校」としての存在感を高めている。

(高知市教育委員会)